

【東日本大震災関連】

一関市災害ボランティアセンターの活動について（H23.3～H24.3）

一関市との連携のもと「一関市災害ボランティアセンター」を平成23年3月に開設し、ボランティア活動情報を発信するとともに、ボランティア登録及びボランティア派遣調整・相談支援を行った。（ボランティア活動者数 延べ1,356人）

・主な活動は以下の通り

1. 炊き出し支援活動（市内避難所及び沿岸福祉避難所、沿岸子育て支援センター）
 - (1)市内避難所…平成23年3月14～21日うち5日間派遣
市内登録ボランティア等 毎日1～16人を派遣
 - (2)陸前高田市福祉避難所の食事作り…平成23年5月1～10日
大東ボランティア連絡協議会 毎日2～3人を派遣
 - (3)陸前高田市子育て支援センター炊き出し…平成23年10月21日
民生児童委員・主任児童委員 25人を派遣
2. 高齢者及び障害者からの家の片付け、清掃（市内被災者及び市内みなし仮設避難者）
平成23年4月12日…3人、5月31日…5人を派遣
※上記以外の依頼は、地域での助け合いや民生児童委員との連携で解決した。
3. 東京都医療チーム送迎ボランティアを派遣（一関から陸前高田・気仙沼市の避難所等）
平成23年4月1日～5月31日…毎日1～7人を派遣（最大5台で移動）
4. NPO、NGO等の物資輸送連絡調整、輸送、現地配達等の活動
 - (1)NPO日本ハビタット協会の物資輸送調整（陸前高田災害対策本部まで案内）
平成23年3月16日…職員1名を案内者として派遣
 - (2)真如苑災害救援ボランティア（SeRVサーブ）の物資輸送調整
（気仙沼災害対策本部との調整、案内） 3月24日
 - (3)いちのせき市民活動センターの物資仕分け・梱包ボランティア派遣
平成23年4月1日,4日,6～15日…各日2～18人を派遣
 - (4)NGOデミーラ（ドイツ）の生鮮食品陸前高田市配達の輸送荷入ボランティア派遣
平成23年4月20～23日,25日…各日2～4人を派遣
 - (5)NPOピースウィンズジャパンの沿岸応急仮設住宅へ物資配達ボランティア派遣
 - ①陸前高田市 平成23年5月12日～7月6日うち13日間…各日2～8人を派遣
 - ②大船渡市 平成23年6月30日…8人を派遣
 - (6)NPOワールドビジョンジャパンの山田町支援物資仕分け・梱包ボランティア派遣
 - ①平成24年2月15～17日,②2月20～24日…各日1～8人を派遣
5. 陸前高田市への災害支援ボランティアバスの運行
平成23年5月14日～平成24年3月31日 延べ46日（うち台風等による中止4日）
市民を中心に延べ710人を派遣

6. ふれあいサロンへの支援

陸前高田市竹駒地区へボランティア派遣 平成 23 年 7 月 12 日…14 人派遣

※大東保健センターに陸前高田市矢作地区サロン参加者を招いて、入浴・レクを楽しむ会を開催（大東支部）。

7. 沿岸被災地への夏休み（夏期休暇）を利用したボランティア参加者の宿泊拠点支援

「キャンプいちのせき・大東」の設置・運営

平成 23 年 7 月 29 日～9 月 28 日（57 日間）、延べ 524 人が利用

8. 被災地支援車いす修理・寄贈活動の実施

日本社会福祉弘済会の「空飛ぶ車いす」活動の岩手県内調整（大船渡、一関）と車いす修理会（特別養護老人ホーム明生園）の実施 平成 23 年 12 月 23 日～24 日

(1)参加者：大森工業高校、神奈川工科大学、新潟医療福祉大学の教員、生徒あわせて 35 名

(2)車いす寄贈先：大船渡市…大船渡市社協を通じ老人保健施設へ 10 台、一関市…特養ホーム一関ケアサポート 3 台、福光園アネックス 2 台、関生園 2 台、グループホームゆいとり 2 台、ほっとスマイル 2 台

(3)車いす修理活動：特養ホーム明生園 約 60 台

9. 災害ボランティアに関する情報提供（平成 23 年 5 月～）

(1)ホームページに災害ボランティア情報ページを追加（<http://www.ichinoseki-shakyo.com>）

①「災害ボランティアについて」アクセス件数 延べ 22,271 件(3 月末現在)

②「キャンプいちのせき・大東」アクセス件数 延べ 3,898 件(7～9 月)

(2)ホームページの補足・更新情報として、ツイッターによる情報を追加（@ichishakyo_vc）

災害ボランティアの情報ページに「ボランティアセンターTwitter」欄を設け、ツイッターでホームページの補足・更新情報の埋め込み表示ができるようにした。

【その他、東日本大震災における社協の活動】

(1) 陸前高田市社協への職員派遣

(2) 東日本大震災避難者交流会「ふるさとお茶っこ交流会」の開催（2016 年度も継続）

(3) 気仙沼市社協が実施する交流会の支援と定期的情報交換会の開催（2016 年度も継続）

【豪雨災害関連】

※平成 14 年 7 月発生台風 6 号の災害時合併前の一関市社協等が県社協と協力し、災害ボランティアセンターを運営した。(当時、県内で災害ボランティアセンターの運営経験を持つ職員は少なかった)。

一関市社協災害ボランティアセンターの活動について (H25.7 ~ H25.8)

平成 25 年 7 月 26 日～27 日に発生した集中豪雨により、床上浸水が 68 世帯、床下浸水が 27 世帯の東山地域において、7 月 29 日から一関市との連携のもと、「一関市社協災害ボランティアセンター」を一関市社会福祉協議会内に設置し、「一関市社協災害ボランティアセンター東山現地センター」を一関市社会福祉協議会東山支部に設置し、ボランティア活動情報を発信するとともに、災害支援を行った。

- ・活動期間 平成 25 年 7 月 29 日～8 月 5 日
- ・活動内容 被災ゴミの片付けや泥出し、家屋や家財の洗浄等
- ・活動人数 延べ 557 人 (20 団体、26 個人)

【「岩手県防災ボランティア支援ネットワーク」連絡会議】(H26.2~現在に至る)

一関市社協は市と協働した災害ボランティアマニュアルの策定、及び東日本大震災・豪雨災害ボランティア活動により、26 年 2 月より、岩手県防災ボランティア指針 (案) 策定意見交換会に参画。以降、岩手県防災ボランティア指針を基につくられた防災ボランティア支援ネットワークの連絡会議に継続参画し、防災ボランティアの推進を図っている。

・ネットワーク構成委員

岩手県社会福祉協議会、日本赤十字社岩手県支部、特定非営利活動法人いわて連携復興センター、特定非営利活動法人遠野まごころネット、一般社団法人 SAVE IWATE、公立大学法人岩手県立大学、盛岡市、雫石町、大船渡市社会福祉協議会、一関市社会福祉協議会、岩手県

